

# 小学校第1学年 国語科学習指導案

日時 平成18年10月13日(金) 公開授業  
 学級 第1学年 男子4名 女子4名 計8名  
 指導者 教諭 本宮 立子

本単元における「読むこと」の指導内容  
 時間的な順序、事柄の順序などを考えながら、内容の大体を読むこと。(イ)

1 単元名 くらべてよもう  
 教材名 「じどう車くらべ」

## 2 単元について

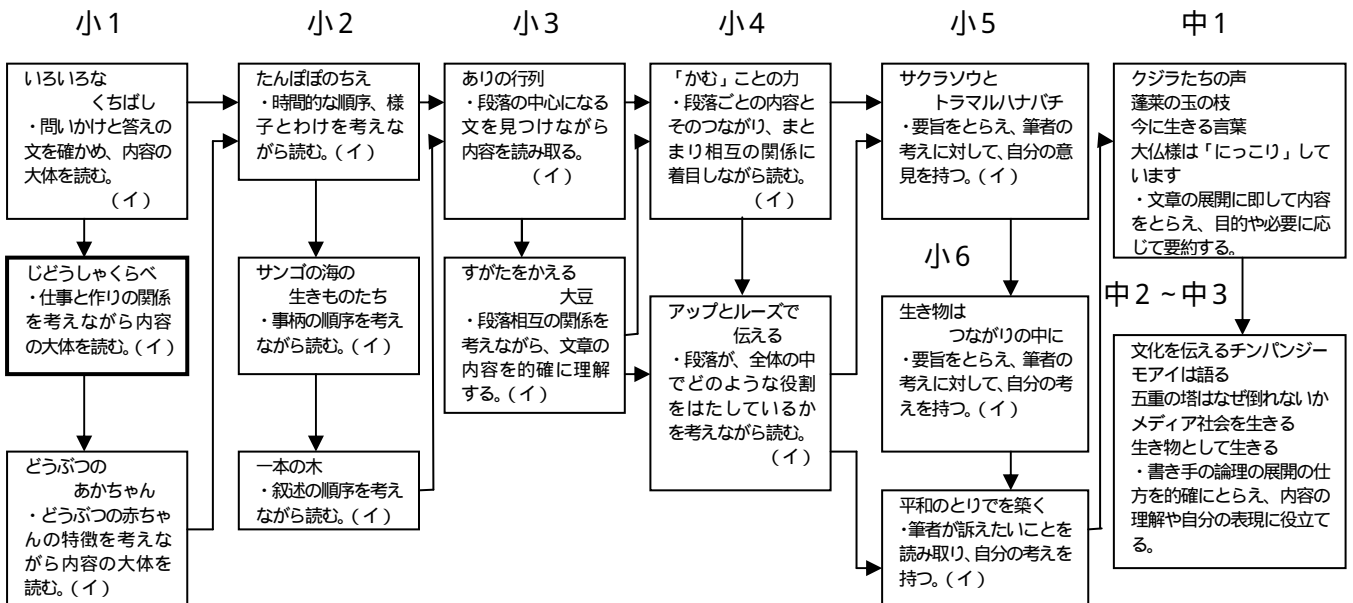
### (1)児童の実態

児童は、これまでに説明文の学習として、7月に初めて「とりのくちばし」を学習した。ここで説明文の基本的なパターンである「問い」と「答え」の文を確かめながら、鳥のくちばしとえさの関係を読み取る学習をしてきた。文型に慣れるために、自分たちでクイズを作り「～でしょう。」「～です。」の文を作る活動も行い、何人かの児童は、文末から「問い」と「答え」を意識できるようになってきた。しかし、まだ基本的な文型を理解し始めたばかりで、主体的に絵や文から内容の大体を読み取ったり、学んだ事を元に進んで本を読んで調べて、学習した事を生かそうとしたりする点についてはまだ、身につけていない。

日常活動の中では、1学期でひらがなの学習は終わり、2学期から漢字の学習、そして本教材で始めて片仮名を学習する。また、家庭での音読に毎日取り組み、授業の中でもできるだけ音読を取り入れ、間のとり方に気をつけながら、大きな声ですらすらと読めるようになってきた。本の読み聞かせも大好きで、集中して聞いており、進んで図書室から本を借りる子も多くなってきた。視写は「いろいろなくちばし」で初めて取り組み、大事な言葉や文を書く活動を少しずつ取り入れるようにしてきた。書く速さ、丁寧さ、正確さは、かなり個人差が大きい。意欲的に取り組む子が多い。

### (2)教材について

<単元系統図>



第1・2学年では、時間的な順序、事柄の順序などを考えながら、内容の大体を読むことを目標としている。第1学年の説明的文章では、説明されている内容の大体を読み取る学習が中心となる。「いろいろなくちばし」では、問いと答えという説明文の基本文型を学習し、次に学習する説明文「じどう車くらべ」では、話題・問題提示に対する答えと、説明の部分をさらに進め、説明が仕事とそのため仕組みという2つの要素で構成されるようになっていく。そして「どうぶつの赤ちゃん」では、問いに対する答えの説明部分の要素がさらに多くなり、特徴や違いを考えて読む学習へとつながっていく。

そして、第1学年で学習したことを基に、第2学年の「たんぼのちえ」や「サンゴの海の生きものたち」では、「問い 答え」の文に気づいたり、さらに「やがて」など時間の経過を表す言葉に着目したりすると共に、「なぜ」に対する答えの文「～のです。」などの文末表現を学習していく。第1・2学年で順序を考えながら、内容の大体を読み取る学習をすることは、第3・4学年での要点の把握や段落相互の関係を把握したりする学習につながる。そして、このことはやがて第5・6学年での、文章の全体像をとらえ、筆者が言いたいこと(要旨)は何かを学ぶ学習へとつながっていく。

本教材は、「いろいろなくちばし」に続く2つ目の説明文である。この時期の子どもたちにとって興味・関心のある自動車を題材に取り上げているので、楽しみながら読み進めることができると思われる。子どもたちの身近にある自動車を取り上げ、自動車の機能と構造を関係づけて考えるように書かれている。条件や理由を表す言葉を用いて表現することにより、いっそう機能と構造の関係を明確にさせることができ、関係認識の初歩的な指導に適している。自動車の種類ごとに、「しごと」と「つくり」の順に説明されているので、子どもたちは、文章構成の順序性に気づきながら読むことができる教材である。また、子どもたちの興味・関心を生かしながら、読書活動にむすびつけて、調べたり表現したりする活動へも発展させていきたい。

### (3)指導にあたって

子どもたちにとって興味関心の高い自動車が題材なので、みんな意欲的に学習に取り組むと思われる。疑問や問題意識を持たせながら、楽しく学習に取り組ませたい。

事柄の順序を考えながら内容の大体をつかむために、「しごと」と「つくり」について説明している文をおさえ、順序性を意識した読み取りをさせる。

それぞれの自動車が「しごと」と「つくり」の2つのまとまりで構成されていることに気づかせる。また、「そのために」という言葉に注目させ、仕事と作りには関係があること、この言葉が仕事と作りそれぞれのまとまりをつなぐ役割を果たしていることを理解させる。

自動車図鑑作りでは、自分で選んだ自動車について「しごと」と「つくり」の説明的文章を書くことにより、学習したことを確かなものにする。また「自分で書いた図鑑をみんなに見せる」という活動を通して、相手意識や目的意識を持って主体的にみんなと関わり合えるようにしていく。また、本を調べることによって新しく知る楽しみを味わわせるように支援し、説明的文章の学習を意義あるものにしていきたい。

## 3 単元の目標及び評価規準

### (1)単元の目標

#### 【 国語への関心・意欲・態度 】

自動車図鑑を作るために必要な情報を収集し、いろいろな自動車の仕事や作りに興味をもちながら読もうとする。

#### 【 書くこと 】

教材文を参考にして、簡単な組み立てを考えながら好きな自動車の仕事と作りを説明する文を書くことができる。

#### 【 読むこと 】

3種類の自動車について、仕事と作りの関係を考えながら内容の大体を読むことができる。

#### 【 言語についての知識・理解・技能 】

片仮名で書く語を、読んだり書いたりすることができる。

評価規準

国語への関心・意欲・態度	自動車図鑑を作るために必要な情報を収集し、いろいろな自動車の仕事や作りに興味をもちながら読もうとしている。
書く能力	自動車の仕事と作りなどの簡単な組み立てを考えながら、自動車についての説明を書いている。
読む能力	3種類の自動車について、仕事と作りの関係などを考えながら、内容の大体を理解している。
言語についての知識・理解・技能	片仮名で書く語を読んだり書いたりしている。

4 指導計画（全9時間）

次	時	学習活動	評価規準
1	1	・全文を読み、挿絵や経験を元に話し合い、自動車図鑑を作る計画を立てる。	(関)挿絵や経験から知っている自動車について話し、興味をもって読もうとしている。 (読)自動車の何について聞いているか、どんな自動車が出てくるのか、読み取っている。
	2	・新出漢字、片仮名の練習をする。	(言)漢字や片仮名を正しく書いている。
2	3	・バスやじょうよう車の「しごと」や「つくり」について読み取る。	(関)バスや乗用車の「しごと」と「つくり」について興味を持ち、楽しんで読み進めようとしている。 (読)バスや乗用車の「しごと」と「つくり」の関係を結びつけながら、内容の大体を読み取っている。
	4	・トラックの「しごと」や「つくり」について読み取る。	(関)トラックの「しごと」と「つくり」について興味を持ち、楽しんで読み進めようとしている。 (読)トラックの「しごと」と「つくり」の関係を結びつけながら、内容の大体を読み取っている。
	5 (本時)	・クレーン車の「しごと」や「つくり」について読み取る。	(関)クレーン車の「しごと」と「つくり」について興味を持ち、楽しんで読み進めようとしている。 (読)クレーン車の「しごと」と「つくり」の関係を結びつけながら、内容の大体を読み取っている。
3	6	・はしご車の「しごと」や「つくり」について、挿絵を元に考え、説明文にまとめる。	(書)はしご車の「しごと」と「つくり」を考えながら文を書いている。
	7	・自分で書きたいじどう車を選び、「しごと」と「つくり」を調べる。	(関)いろいろな自動車について、興味をもって進んで調べている。

8	・選んだ自動車の「しごと」と「つくり」について、組み立てに気をつけながら説明文を書く。	(書)自分で選んだ自動車の仕事と作りについて、組み立てに気をつけながら、文を書いている。
9	・じどう車図鑑にまとめ、みんなで見せ合う。 ・学習したことを振り返り、感想を発表し合う。	(関)友達が作った図鑑の良いところを見つけて、感想を交流している。 (書)書かれた文章を読み合い、そのよさに気づいている。

## 5 本時の手立て

見通す段階では、音読をさせながら、本時も前時まで学習したバス・じょうよう車・トラックと同じように、どんな「しごと」をしているかと、どんな「つくり」になっているかの二つのまとまりで文章が構成されていることに気づかせる。そして、「しごと、そのために、ついで、つくって」などの言葉を手がかりに、クレーン車の仕事と作りを見つけていくことを確認する。

考える段階では、「そのために」を手がかりにして、文章構成が「しごと そのため つくり」の順序になっていたことに着目させることによって、「しごと」「つくり」をみつけてサイドラインをひかせる。その後、ワークシートに重要語句の視写をして、内容を読み取らせていきたい。

深める段階では、「つりあげる」とは、どういうことなのか、「うで」「あし」は、クレーン車のどの部分なのかを挿絵と文章を対比させたり、発表や動作化をさせたりしながら読み取ったことを、全員が理解できるようにしていく。また、まとめの音読では仕事と作りを役割読みをさせることによって、クレーン車の仕事と作りについて学んだことを確認できるようにしたい。

## 6 本時の指導

### (1)目標

クレーン車の「しごと」と「つくり」を結びつけながら、内容の大体を読み取ることができる。

### (2)評価規準

#### 【 国語への関心・意欲・態度 】

クレーン車の「しごと」と「つくり」について興味を持ち、楽しんで読み進めようとしている。

#### 【 読む能力 】

クレーン車の「しごと」と「つくり」の関係を結びつけながら、内容の大体を読み取っている。

### (3)展開

段階	学習内容	児童の学習活動	指導上の留意点	評価
つかむ	1. 前時の学習を想起する。 2. 本時の学習課題を把握する。	・トラックの「しごと」と「つくり」について思い出す。 ・学習課題をつかむ。	・トラックの絵を見ながら、仕事と作りについて確認する。 ・課題文から、本時も「しごと」と「つくり」について学習することを確認する。	
5分	クレーン車は、どんなしごとをしていますか。 そのために、どんなつくりになっていますか。			

見通す 7分	3 .課題解決の見通しを立てる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習範囲を音読する。</li> <li>・既習事項から「しごと」と「つくり」を探すために手がかりとなる言葉を想起する。</li> </ul> <div data-bbox="719 405 1007 636" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・しごと(をしています。)</li> <li>・そのために</li> <li>・つくって</li> <li>・ついて</li> </ul> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・答えの文がどこにあるかを考えさせながら音読させる。</li> </ul> <div data-bbox="1082 286 1369 517" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>既習事項から「しごと」「そのために」「つくり」の言葉や、文末表現を手がかりにすることに気づかせる。</p> </div>	発言 (関)
考える 10分	4 .学習課題を解決するために、読み考える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クレーン車の仕事と作りが分かる文にサイドラインをひく。</li> </ul> <div data-bbox="719 846 1007 965" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>仕事～赤鉛筆 つくり～青鉛筆</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートに部分視写をする。</li> </ul>	<div data-bbox="1082 734 1394 927" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>既習事項から、「しごと」「そのために」「つくり」の順に説明されていたことに気づかせる。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「重い物をつり上げる」「丈夫な腕」「しっかりした足」に着目し、仕事と作りをとらえさせる。</li> </ul>	ワークシート (書)
深める 13分	5 .学習課題を解決するために、自分の考えを発表したり、友達の考えを聞いたりして、読み深める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サイドラインをひいた文章を発表し、「しごと」と「つくり」を読み取る。</li> </ul> <div data-bbox="695 1272 1034 1464" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>しごと～おもいものをつりあげる。 つくり～じょうぶなうで しっかりしたあし</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「しごと」と「つくり」の関係について理解を深める。</li> <li>・発表や動作化をしながら読み取ったことを確かめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・腕、足がクレーン車などの部分なのか、挿絵を見ながら確かめ、その使い方を仕事と結びつけながら、理解を深める。</li> <li>・「つり上げる」「丈夫な腕」「しっかりした足」という語句のイメージをつかませるために、動きを見せたり、動作化をしたりして、読み取ったことを確かめる。</li> </ul>	発言 (読)

ま と め る  10 分	6. 本時の学習をまとめる。	・クレーン車になったつもりで、ふきだしに「しごと」と「つくり」の自慢を書き、発表する。	・重要語句を入れながら書くようにさせる。	ワークシート (書)
	クレーン車は、おもいものをつりあげるしごとをしています。 そのために、じょうぶなうでが、のびたりうごいたりするようにつくってあります。しっかりしたあしがついています。		・課題と対応させながら、クレーン車の仕事と作りについてまとめ、問題に対する答えであることを確かめる。	
	7. 学習を振り返る。	・学習内容を振り返りながら、音読する。 ・分かったことや学習の感想を発表する。	・クレーン車の仕事と作りを確かめながら、役割読みをさせる。 ・勉強して分かったことを中心に発表させる。	発言 (関)
8. 次時の学習内容を知る。	・次時は、はしご車の「しごと」と「つくり」を学習する事を知る。	・はしご車についても今日の学習を生かしてまとめていくことを知らせる。		

(4) 具体の評価規準とその手立て

<b>【国語への関心、意欲、態度】</b>	
クレーン車の仕事と作りについて興味を持ち、楽しんで読み進めようとしている。	
A: 十分満足できる例	クレーン車の仕事と作りについて興味をもち、自分なりの考えをもちながら楽しんで読み進めようとしている。
B: 概ね満足できる	クレーン車の仕事と作りについて興味をもちながら、楽しんで読み進めようとしている。
B に至らない児童への手立て	掲示や挿絵から前時までの学習を想起させ、クレーン車の仕事と作りはどうなっているか興味をもたせながら読ませる。

<b>【読む能力】</b>	
クレーン車の仕事と作りの関係を結びつけながら、内容の大体を読み取ることができる。	
A: 十分に満足できる例	クレーン車の仕事と作りが書いてある文を見つけ、「おもいものをつりあげる」「じょうぶなうで」「しっかりしたあし」などに着目して、内容を確かに読み取っている。
B: 概ね満足できる	クレーン車の仕事と作りが書いてある文を見つけ、「おもいものをつりあげる」「じょうぶなうで」「しっかりしたあし」などに着目して、内容の大体を読み取っている。
B に至らない児童への手立て	前時までの学習を想起させて文章構成を確認し、教師と一緒に読みながら、クレーン車の仕事と作りを見つける。

(5)板書計画

クレーン車の絵

クレーン車は、どんなクレーンをしていきますか。  
そのためにどんなつくりになっていますか。

クレーン

おもいものを つかぬクレーン  
をします。

そのために

つくり

じょうぶなつくりが、のびたり ついたり  
します。つかってあげます。

車たいが かたむかないように  
しっかりしたあしが、ついています。

まゆめ

クレーン車は、おもいものをつかぬクレーン  
をしています。

そのために、じょうぶなつくりが、のびたり  
ついたりするようにつくってあげます。しっかり  
したあしがついています。